

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



モモ園の灌水の重要性



- モモ園においては、水が**絶えず** **出入り**しています（図）。
- 樹は**根**を通して年間745mmの水を吸収し、果実を生産する他、葉からの水蒸散により**樹体を冷却**し、**適温に保**っています。
- 園に入る**降水量**は年間1164mm程度です。しかし、降雨の一部は、地下浸透や地表面流去するので全量吸収は困難です。
- そのため、夏季には**定期的な灌水**により水分を補う必要があります。
- 収穫後も園の状態を見ながら**忘れずに灌水**を実施しましょう。

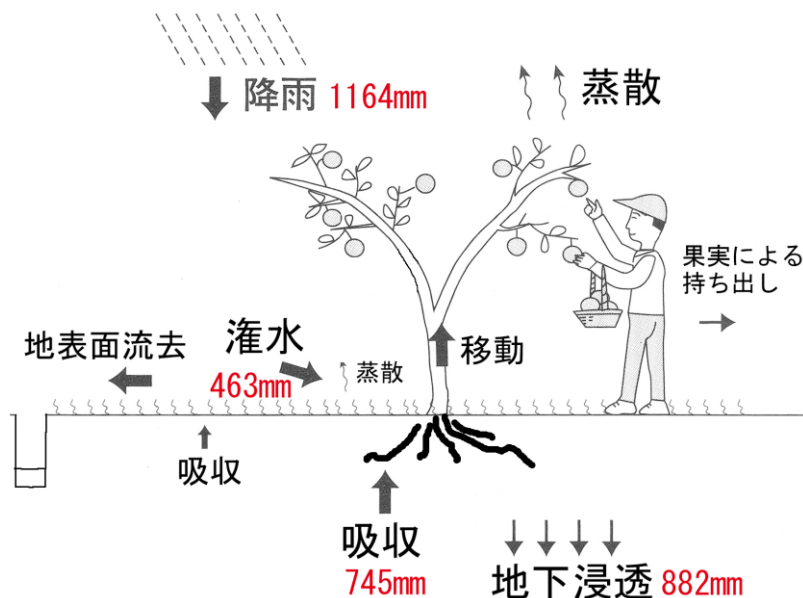


図 モモ園における年間の水の動き(6年間の試験結果)



高山植物は温暖化における「鉱山のカナリア」



- 今夏は梅雨明けが早く、猛暑が続き、日焼け等高温障害の発生が話題となり、**地球温暖化を実感**します。
- 地球は長い歴史の中で寒冷化、温暖化を繰り返しています。**氷河期**に分布が広がり、その後温暖化につれて南アルプス等の標高が高く、気温が低い山地に**取り残された植物**が**高山植物**と呼ばれています。
- かるうじて残っている植物ですので環境変化には敏感で、温暖化により**生育域縮小**等の影響を受けます。
- かつて、鉱山で鉱道の毒ガス感知に用いられたカナリアに例えて、高山植物は温暖化による変化をいち早く知るための「**鉱山のカナリア**」と言われています。



ニッコウキスゲ（南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク）